

日本歯科新聞

2011年(平成23年)

3月1日

<発行所>

日本歯科新聞社

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-4

電話03(3234)2475

FAX03(3234)2477

http://www.dentalnews.co.jp/

jdn@dentalnews.co.jp

年間購読料18,900円(税・送料込)

郵便口座番号00120-5-130369

厚生労働省記者クラブ加盟社

咀嚼機能訓練士を提言

愛知県技がシンポジウム



において咀嚼機能訓練士が求められる」とし、義歯を入れた患者の咀嚼機能訓練ができるなど歯科技工士の役割を見直すよう訴えた。

さらにシンポジウムとして瀬戸やすらぎ地域包括支援センター主任ケアマネジャーの社会福祉士・伊里みゆき氏や、特別養護老人ホームの管理栄養士・鬼頭香織氏、特別養護老人ホーム主任介護支援専門員で歯科衛生士・榊原ひとみ氏、老人保健施設メチカルホーム多久手介護主任の介護福祉士・水谷裕美氏、国家公務員共済組合連合会東海病院の看護師・浅井有里氏、県技会副会長の佐藤幸司氏がそれぞれの立場から、義歯について困っている

ことなどを語った。

鬼頭氏は義歯について調整ができないなど困っているとして、義歯利用者の食事形態などについての理解を求めた。

榊原氏は平成13年から実施しているアセスメント調査の結果を示し、「要介護度が重度化するに従い、部分義歯使用者が減り、自歯のみ・歯茎のみ利用者が増加している」「平均残存歯数・自歯のみの割合が高まっているが、咀嚼能力には変化がない」と説明した。

水谷氏は施設利用者の義歯について「入所してから本人や家族の希望以外で義歯を作る人はほとんどいない」とした。

浅井氏は「義歯作製前に咀嚼して食べることが大切だということを説明してほしい」と訴えた。

佐藤氏は、義歯は患者の咀嚼機能を活性化させる介護的な治療用義歯と、完成した機能的義歯が考えられるとし、無歯顎者の治療用義歯が保険適用され、義歯治療専門外来が創設されることが求められる」と提案した。

愛知県歯科技工士会(藤野進会長)は企画講演シンポジウム「歯科技工士に期待されること」視座!要介護者の義歯を、名古屋市内において2月20日に開かれた愛知県歯科医学大会で行った「写真」。

同講演シンポジウムは名古屋学芸大学管理栄養学部教授の山中克己氏が座長を務め、愛知県開業の歯科医師、鈴木俊夫氏が講演を行った。

鈴木氏は「高齢社会に

日本歯科新聞

2010年(平成22年)

1月26日

<発行所>

日本歯科新聞社

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-4

電話03(3234)2475

FAX03(3234)2477

http://www.dentalnews.co.jp/

jdn@dentalnews.co.jp

年間購読料18,900円(税・送料込)

郵便口座番号00120-5-130369

厚生労働省記者クラブ加盟社

咀嚼機能訓練士の創設を

鈴木俊夫 (愛知県開業)

長年、義歯を使用して
いなかった患者や、不適
合な義歯を使用していた
患者に、新しい義歯を作
成し、装着したあと、うま
く噛めないとか合わない
などと言われることは少
なくない。

外科や整形外科の医師
が歩行訓練をしているだ
ろうか。

また、下顎などでは顎
堤が吸収したり萎縮した
りしていて、義歯を維持
するには無理があるよう
な場合も多い。

義肢でも義肢装具士が
作製し、理学療法士が歩
行訓練をしているが、義
歯についてみるとどうで
あろう。

歯科医師がすべてを仕
切ることは、もはや経営
的にも無理がきている。
歯科医師が歯科医学的に
最善を尽くして作製した
義歯が、使用されずに義
歯ケースの中や、引き出
し、財布の中に入ってい
る現状をみるにつけ、義

歯を作製して食べ物を噛
んで食べれるようにする
には、その患者の脳梗塞
の後遺症や、パーキンソ
ンの進行状況、認知程度
でかなり困難を伴うこと
も少なくない。

現在の診療報酬はそれ
を無視して、単に6カ月
は健康保険での再度作製
は、給付適応とはならな
いとされているが、その
中で一部の人は訓練すれ
ば、その義歯を使用でき
るのではないだろうか。

ハードを考えるのでは
なくソフトを考えること
が、歯科医師に求められ
ると思う。今後、更に、超
高齢社会が進行すればな

おさらではないか。

まずは、歯科医師が現
在行っている医療の部分
で、一部を、新しい資格を
創設して、その方々に委
譲し(当然、歯科医師の
下)、閉塞的な歯科界を変
革していきたいものでは
ある。

開業歯科医師で、高齢
者の診療に従事してみえ
る先生方には、ご理解い
ただけるのではないかと
思う。

歯科医師会はいつま
でも井の中の蛙體質を統
けるのであろうか。